



## 平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄

コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 辰

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日

平成26年5月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関、機関投資家、アナリスト、マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第2四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	36,830	△4.5	△443	—	△494	—	△528	—
25年8月期第2四半期	38,546	△1.5	594	△41.4	535	△40.3	48	△92.1

(注)包括利益 26年8月期第2四半期 △517百万円 (—%) 25年8月期第2四半期 67百万円 (△89.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	△25.56	—
25年8月期第2四半期	2.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	48,113	—	25,626	—	53.0	—	1,231.81	—
25年8月期	48,401	—	26,310	—	54.1	—	1,264.88	—

(参考)自己資本 26年8月期第2四半期 25,479百万円 25年8月期 26,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00
26年8月期	—	6.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,920	△6.1	△860	—	△920	—	△1,070	—	△51.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期2Q	21,198,962 株	25年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	26年8月期2Q	514,541 株	25年8月期	514,501 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期2Q	20,684,446 株	25年8月期2Q	20,684,574 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在に入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に円安や株高が進行し、企業収益の改善や設備投資の増加とともに、個人消費も上向くなど、景気回復基調の中で推移いたしました。しかしながら、海外においては、米国経済は堅調に推移したものの、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の停滞感など、依然として先行き不透明感が漂う状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業における既存店舗対策」を最優先の経営課題として認識し、店舗オペレーション体制の再構築、店舗業態コンセプトの再構築並びにメニューの刷新、「ランチ市場」など新しい飲食需要の取り込み強化、集客アップに向けたイベント企画の充実を中心に様々な施策に取り組みました。

しかしながら、外食業界の中でもとりわけ居酒屋業態を取り巻く環境は予想以上に厳しく、また世の中の労働環境も大きく変化しており、当第2四半期期間において、店舗リストラクチャリングを含めた「業務構造改革」を行うことを決定し、着手いたしました。

また、店舗展開においては、新規出店を2店舗、店舗改装（業態転換を含む）を7店舗、店舗閉鎖を5店舗で行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ4.5%減少の36,830百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、「業務構造改革」に伴い、1月より店舗の営業時間を短縮したことや定休日を設けたこと、また2月にはかつてない大雪の影響を受けたこともあり、当社グループの既存店売上高は対前年比94.8%と減少しました。このため、売上高は前年同期に比べ5.7%減少の31,579百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社のグループ外部取引先への売上が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ7.3%増加の2,033百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃貸物件が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ7.1%増加の512百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ4.9%減少の182百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ1.7%増加の2,523百万円となりました。

一方、利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益額が大幅に減少したこと等により、営業損失は443百万円（前年同期は営業利益594百万円）、経常損失は494百万円（前年同期は経常利益535百万円）、四半期純損失は528百万円（前年同期は四半期純利益48百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は15,283百万円となり、前連結会計年度末に比べて375百万円増加となりました。これは、売掛金が554百万円減少したこと及び繰越税金資産が336百万円減少したことに対し、現金及び預金が1,259百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は32,829百万円となり、前連結会計年度末に比べて664百万円減少となりました。これは、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が756百万円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13,231百万円となり、前連結会計年度末に比べて696百万円減少となりました。これは、未払金が840百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は9,255百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,091百万円増加となりました。これは、社債が1,100百万円減少したことに対して、長期借入金2,347百万円増加したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は25,626百万円となり、前連結会計年度末に比べて684百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや四半期純損失の計上等により利益剰余金が694百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,260百万円増加の11,622百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、358百万円の資金支出（前年同期は1,034百万円の資金収入）となりました。収入の主な内訳は減価償却費1,015百万円等であり、支出の主な内訳は仕入債務の減少額705百万円及び税金等調整前四半期純損失488百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、438百万円の資金支出（前年同期は542百万円の資金支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出699百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,057百万円の資金収入（前年同期は1,653百万円の資金支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,036百万円及び社債の償還による支出342百万円等に対し、長期借入れによる収入3,800百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,440	11,700
売掛金	2,611	2,057
商品及び製品	450	439
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	182	193
繰延税金資産	575	238
その他	949	850
貸倒引当金	△302	△196
流動資産合計	14,907	15,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,647	6,955
機械装置及び運搬具（純額）	332	358
工具、器具及び備品（純額）	691	668
土地	9,319	9,320
リース資産（純額）	1,315	1,132
建設仮勘定	3	118
有形固定資産合計	19,309	18,552
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	13	6
その他	164	160
無形固定資産合計	1,091	1,080
投資その他の資産		
投資有価証券	212	228
出資金	6	4
長期貸付金	61	135
差入保証金	7,288	7,127
敷金	4,374	4,216
繰延税金資産	961	1,396
その他	407	409
貸倒引当金	△219	△323
投資その他の資産合計	13,093	13,196
固定資産合計	33,493	32,829
資産合計	48,401	48,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,560	1,854
短期借入金	1,965	2,075
1年内返済予定の長期借入金	1,699	2,115
1年内償還予定の社債	2,452	3,210
リース債務	549	456
未払金	3,199	2,358
未払法人税等	459	223
未払消費税等	182	189
賞与引当金	233	210
株主優待引当金	97	99
店舗閉鎖損失引当金	16	14
訴訟損失引当金	78	—
資産除去債務	2	8
その他	431	415
流動負債合計	13,927	13,231
固定負債		
社債	1,550	450
長期借入金	2,126	4,473
リース債務	814	645
退職給付引当金	1,378	1,405
役員退職慰労引当金	547	559
受入保証金	557	554
資産除去債務	1,165	1,164
その他	24	1
固定負債合計	8,163	9,255
負債合計	22,091	22,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,577	7,883
自己株式	△602	△602
株主資本合計	26,509	25,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	100
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△346	△336
少数株主持分	146	146
純資産合計	26,310	25,626
負債純資産合計	48,401	48,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	38,546	36,830
売上原価	13,994	13,915
売上総利益	24,552	22,915
販売費及び一般管理費	23,957	23,359
営業利益又は営業損失(△)	594	△443
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
受取損害賠償金	4	11
その他	40	26
営業外収益合計	48	40
営業外費用		
支払利息	70	57
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	36	33
営業外費用合計	106	91
経常利益又は経常損失(△)	535	△494
特別利益		
国庫補助金	—	42
受取補償金	—	127
訴訟損失引当金戻入額	—	78
特別利益合計	—	248
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	44	29
店舗関係整理損	8	2
減損損失	136	168
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2	—
固定資産圧縮損	—	42
特別損失合計	199	242
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	336	△488
法人税、住民税及び事業税	169	143
法人税等調整額	115	△103
法人税等合計	284	39
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	51	△528
少数株主利益	2	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48	△528



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	51	△528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	10
その他の包括利益合計	16	10
四半期包括利益	67	△517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65	△518
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	336	△488
減価償却費	1,130	1,015
減損損失	136	168
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	△78
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	70	57
固定資産除却損	44	29
有形固定資産売却損益(△は益)	7	0
売上債権の増減額(△は増加)	149	554
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	△299	△705
未払消費税等の増減額(△は減少)	△152	7
その他	△53	△489
小計	1,343	67
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△71	△57
法人税等の支払額	△248	△371
法人税等の還付額	7	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,034	△358
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△521	△699
貸付けによる支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△6	△20
敷金及び保証金の回収による収入	56	308
その他	△69	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△542	△438
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△290	110
長期借入れによる収入	500	3,800
長期借入金の返済による支出	△1,111	△1,036
社債の発行による収入	295	—
社債の償還による支出	△587	△342
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△165	△165
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△292	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,653	2,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,161	1,260
現金及び現金同等物の期首残高	11,305	10,362
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,143	11,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	33,502	1,894	478	191	36,066	2,480	38,546	—	38,546
セグメント間の内部売 上高又は振替高	13	5,589	299	—	5,902	517	6,420	△6,420	—
計	33,515	7,484	777	191	41,968	2,998	44,967	△6,420	38,546
セグメント利益	990	400	146	147	1,684	19	1,703	△1,109	594

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,109百万円には、セグメント間の取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,111百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において136百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,579	2,033	512	182	34,307	2,523	36,830	—	36,830
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11	5,515	298	—	5,825	511	6,336	△6,336	—
計	31,591	7,549	810	182	40,132	3,034	43,167	△6,336	36,830
セグメント利益又は損失 (△)	42	311	162	141	657	△19	638	△1,081	△443

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,081百万円には、セグメント間の取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,084百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上をしております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において168百万円であります。

以上